



新九郎通信

発行 小田原市栄町 2-13-3 (株) 伊勢治書店 3F ギャラリー新九郎 木下泰徳
 メール配信サービスご希望の方は右記アドレスへお申込みを e-mail:kinoshita@iseji.net

今年も店頭にはたくさんの手帳が並ぶ季節となりました。10月締めのがが家のカレンダーも新しいものになり、1年が短く感じる今日この頃です。11月は、足柄アート VOL.1が始まります。昨年のVOL.0のスタートで大巻伸嗣さんがアートとは『人が動いてアートにする』といい、ここでつながった仲間が今年、「言葉のキズナ」ワークショップが生まれました。「参加することがアート」「みんなでアートになる」みんなが創発する『小さな物語の誕生』にぜひご参加ください。

新九郎 11月の展覧会のご案内

近隣・友の会会員の展覧会情報

会期 展覧会名	見どころ
 10/31(水)~11/5(月) 森の気まぐれ3人展	女性3人による陶・染・彫金 ベンチ・切り株イス・展示用の テーブルも販売します。
 11/7(水)~12(月) ラ・パレット油絵展 30回	見えてくる形を追い、空間を創 る 会員11名の作品展 講師：指原いく子
 第12回(2012) 新樹 日本画展	小田原を中心とした会員で、毎 年発表している日本画のグル ープ。会員8名、約30点
 11/22(木) 新九郎デッサン会	18:15-20:45 コスチューム、固定ポーズ 会費 1500円
 11/21(水)~26(月) 第3回襟会木版画展	モットーは”和を持って木版 画を楽しむ“ 13名約50点の作品展
11/28(水)~12/3(月) アトリエ・コネコ 作品展	こどもクラスの作品展

会期・展覧会名	会場
11/1(木)~5(日) わたしにも描けました展	アオキ画廊 2F 0465-22-0825
11/2(金)~4(日) カラー魚拓展	アオキ画廊 1F 0465-22-0825
11/8(水)~12(月) 第12回水彩画クラブ展	アオキ画廊 1F 0465-22-0825
11/7(水)~12(月) 第22回やまぼうし工芸展	アオキ画廊 1F 0465-22-0825
11/29(木)~12/3(水) 吉田早苗 陶展	アオキ画廊 1F 0465-22-0825
11/7(水)~12(月) やまぼうし工芸展	飛鳥画廊 0465-24-2411
10/31(水)~11/5(月) 石渡武夫木版画展	お堀端画廊 0465-23-7819
11/21(水)~26(月) 中村和子展 (油彩)	お堀端画廊 0465-23-7819
10/30(火)~11/11(日) 浅野修 展	すどう美術館 0465-36-0740
11/13(火)~25(日) 出口道吉展	すどう美術館 0465-36-0740
11/16(金)~27(火)水木定休 柿沼朋実 木版画展	ギャラリーさざれ石 0463-67-9662
11/1(木)~12(月)スケッチングワー クの会 小田原グループ展	ツノダ画廊 0465-22-4263
10/27(土)~11/25(日) 中川 一政-西湘の風土との対話	松永記念館 0465-23-1377 500円

小田原の街なみ再発見！ 板橋・旧東海道の街なみ 3

暮らし・営みが偲ばれる懐かしい街なみを訪ね歩くシリーズ 加藤恭夫



板橋の地名は、板の橋が架かっていたことがその由来とされている。用水の上に板の橋が架かっていたらしい。その用水は今も旧道の下を横切り、旧道の山側に並ぶ家々の裏を流れている。北條氏三代氏康(1515~1571)

の時代に基礎ができたと思われる小田原用水だ。早川から取り入れた水は板橋を通り、小田原城まで通じている。まさに小田原の人々の生活を支えた水。

「ここには水車がありましたよ。」昔はいくつもの水車が回っていたという。製粉や精米などの仕事をする人も多くいて、そのなごりは今も残っている。見ると建物の入口に杉崎製麺所という小さな看板が掛かっていた。用水は地域の人たちによって守られ、きれいな流れを今も保っている。流れに沿って板橋見付のところまで歩いた。季節の花もそえられて、小田原用水に沿っている道はどこか懐かしい小路だ。

第6回小田原映画祭

ドキュメンタリー映画

はじまりの記憶 杉本博司

11月23日(金・祝)

会場：TOHO シネマズ

開場 13:10 / 上映 13:30

前売 1500円 (伊勢治本店、ダイナ店、新九郎で発売中！)

監督：中村佑子 / 出演：杉本博司

※上映終了後舞台挨拶

【杉本博司トークショー】時間 16:00~ / 入場無料

会場：ダイナシティウエスト1階キャニオンステージ

【杉本博司プロフィール】

1948 東京生まれ、立教大学卒業後、1970 年渡米、「劇場」「海景」などに代表される作品は、明確なコンセプトと卓越した技術で高い評価を確立し、自身の作品と古美術の収集品からなる「歴史の歴史」展を開催。作品は MOMA はじめ国内外の美術館に收藏される。

【小田原文化財団施設】建築概要 (杉本博司氏設立)

小田原市の江之浦地区の相模湾を望む場所に計画されている観光資源鑑賞施設。各施設は、美術品鑑賞の為のギャラリー棟、能舞台を含む三つの舞台、茶室、庭園、門、事務所棟などから構成される。各建築物は、我が国の建築様式及び工法の、各時代の特徴を取り入れて再現し、「日本建築史美術館」としても機能するよう計画されている。擁壁、造園等には根府川石、小松石などが使用される。

足柄アートフェスティバルがブルックス大井事業所をメイン会場として、足柄上地域の各所で開催されます。プロデューサーの小川巧記さんが提唱された住民主導の市民創発という言葉に共感し、自分たちでできること、皆と共感でき楽しめることをやろうと色々考えました。ギャラリー新九郎も前回同様「ソウセイカフェ」の場で、市民企画プロジェクトとしてイベント、ワークショップ等に協力します。

開催日時 2012年 11/3(土)4(日) 10(土)11(日) 17(土)18(日) 23(金・祝)24(土)25(日) 12/1(土)2(日)

11:00-17:00 (夜の部・土曜のみ 18:00-21:00)

今年7月、開成町あじさい祭りに合わせASHIGARAアートフェスティバルVol.0で立ちあがった「ソウセイカフェ」が復活。無事にフィナーレを迎えスタッフで打ち上げをしている時にその中の1人がつぶやきました。「酒匂川に橋がない時代、この足柄地区に住む人はどんな方法で対岸の情報を得ていたのだろうか?」少しアルコールの入った他のスタッフが思いつきでああこうだと言いたい放題。これが「ことばのキズナ」のスタートです。現代ではほんの数秒で済んでしまうことを沢山の人手と時間をかけて表現し、参加する人、見ている人、お手伝いをする人がお互いに精神的、感覚的に作用し合うまさにアートであると思っています。(スタッフ石塚敦)

『ことばのキズナ』

あしがらの地を「ことば」でグルッとつなぐ
伝言リレーです。

11月17日(土)

10時 ソウセイカフェ スタート
グルッとまわって

12時 ゴール予定

走ったり、歩いたり、スキップしたり、さげんだり、
糸電話を使ったり、皆で「ことば」を伝えて、
ゴールを目指そう!

参加者の手形を集め、アート作品にします。

参加者募集中! (バッジプレゼント)

【お問合せ】プロジェクトスタッフ

石塚 090-9393-3412 木下 090-9324-4084



ソウセイ ワークショップ

【申込・問合せ】080-1017-3666(藤原)

☆11/4 落語ワークショップ

11:00-13:00 20名参加費 500円 (お茶付)

小噺を覚えて、皆の前で演じます。
聞くより楽しい!

小学高学年~大人まで



☆11/10 おむつなし育児

日本でも世界でも昔から実践されてきた、自然でエコで経済的な赤ちゃんの排泄ケアの方法。講演会&おしゃべりカフェ

11:00-12:30 講演会 1000円 (飲物付)

12:30-14:00 おしゃべりカフェ 500円 (飲物付)

☆11/11 羊毛あーと 文鎮を作ろう

14:00-15:00 参加費 500円

石を使って、誰にでもできる文鎮を作ります。羊毛の手触りや、みるみるかわるその変化を楽しんでみてください。

☆11/23 ゆる体操 運動が苦手な方も大丈夫!

11:00-12:30 参加費 1000円

声を出したり笑ったりしながら、やさしく無理なく体をゆるめ、ほぐしていく体操です。

☆11/24 森のクラフト 子供~大人まで楽しめる

11:00-16:00 参加費 300円

色々な木の部材を使って、自由な発想で作る。

☆11/24 西洋美術史入門講座

13:00-15:00 参加費 500円 (お茶付)

さまざまな絵画作品をスクリーンで見ながら西洋美術史のおもしろさを紹介します。



☆11/25 ゆる体操 運動が苦手な方も大丈夫!

11:00-12:30 参加費 1000円

ソウセイ ギャラリー

一足柄の風景から一

吉本伊織

平面・立体

木下泰徳

平面



ソウセイカフェ

あーと in プレート

(お皿に絵を描いて食べよう)

500円

おでん (延命茶付) 400円

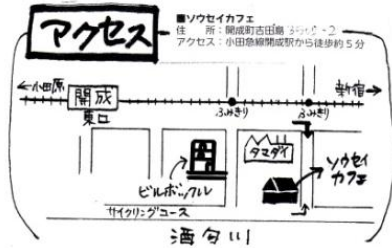
コーヒー、紅茶、延命茶 200円

ソウセイ語り場

話してみたい事や、提案などを持ち寄って話そう

作品販売

漆製品、バッグ、木工品
羊毛小物、まないた、
てぬぐい、缶バッジ、雑貨
加工食品、マカデミアナッツ



かずんずバー 土曜日 18:00-21:00

連絡先 090-9834-6321 (高橋和世)

入場料 1000円 飲食物持ち込みOK!

11/17 あなたとシャンソン 小川はるみ

11/23 たけしいの唄三線 佐藤剛

11/25 長唄って何だろ 高橋千栄子

10月の11日
※小田原駅前の化粧品、衣料品、ハウスウェアを扱うライフストア「マルタジョイ」イギリスで人気というカフェとエッセを新たに加え新装された。以下は同社のコンセプト。「豊かな時代を通り過ぎ、私たちは大量生産されたモノの大量廃棄を無くす時代に入ったと考えています。需要に見合った物の生産はされるべきでしょうが、できるだけ長持ちさせなければならぬでしょう。それにはどうしたら良いか?どの様な店を作るべきかという提案を続けています。必要から長い満足へ、これが私たちのテーマです。これからの時代、希少な商品はもちろん大量生産品であっても芸術品でなければならぬと思います。」
この店の装飾に横井山泰の作品、120号の大作を含む5点が採用された。パリの雰囲気を感じさせる絵は同店のコンセプトに合ったようだ。お近くにこられましたら一度ご覧下さい。
※小田原銀座通りで「小田原提灯「こわかわ」お化けツアー」銀座商店街」が開催されている。(10/27~11/10)第10回街なみ再発見!展の記念事業として行われているもので、こわくてかわいなお化けが9店の店頭飾られている。東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程池村ゼミの学生に協力して頂いた。伊勢治書店には文房具の筆のお化け、カバン屋さんにはカバンのお化け等、お店のイメージからヒントを得て制作されている。若い学生たちの感覚をお楽しみください。
※スタンプリングで6種のスタンプを集めると、抽選で日帰りバスツアーが5組10名様に当たります。
※「リヒテンシュタイン・華麗なる侯爵家の秘宝」展を見た。パロック・サロンの部屋では豪華な家具調度品や天井画をセッティングして、宮殿の中で絵を鑑賞しているようである。名画ギャラリーにはヴァン・ダイク、ラファエッロ、ピーテル・ブリューゲル等のコレクションが並ぶ。
ルーベンス・ルームにはすべて日本初公開の10点の作品。3x4mの「古いの結果を問うデキウス・ムス」ははじめ歴史画大作がきている。歴史画大作はルーベンスの画家としての偉大さと名声を高めた作品であろう。中野京子という作家が西洋中世絵画の見方について「意味のある絵は意味を教えなければならぬ。知識は余計なものどころか、絵を楽しむ必須条件だ。」と語っている。近代絵画、現代絵画は成立の過程が違うので見方はまた変わって来るであろう。知識を持たない私は絵は絵として見るだけである。
今回出品中で一番人気のある絵は、わずか37x27cm(5号)のルーベンスの愛娘5歳「クララ・セレナ・ルーベンスの肖像」である。クララの利発そうなキラキラした瞳、ふくらした赤い頬に微笑んだ口元。世界中の子を持つ親は、わが子に重ね合わせ、このかけがえのない愛らしい絵を見つめるのであろう。Ⓞ